

9/11 家族



「戦争できる法律いらない」と国会正門前で抗議のコールをする人たち=10日、東京都千代田区

# 戦争法案強行させない 国会前で連続行動開始

戦争法案の廃案、安倍政権の退陣を求めて10日、総がかり行動実行委員会とSEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）が国会正門前で連続行動をスタートさせた。雨が降るなか、4000人（主催者発表）が参加。映画監督のジャン・ユ

ンカーマンさん、被爆者の代表らが次つぎとスピーチ。「追い詰められているのは安倍政権です。退陣までたたかいぬく」との発言に大きな拍手が起こり、「戦争したがる総理はいらない」とコールしました。被爆者の代表が初めて国会前でマイクを握りました。日本原水爆被害者団体協議会の田中照日事務局長は「核兵器の廃絶を求めてたたかってきた。今、憲法9条が危機にひんしている。安倍政権を許すわけにはいかない」と訴えました。主催者を代表して3氏があいさつ。憲法共同センターの小田川義和さんは「廃案を求める声で国会を包囲し、さまざまな手段で与党を追い詰めていこう」と呼びかけました。日本共産党の小池晃副委員長は「今こそ民衆の力を示す時。野党は一致結束し、廃案に追い込む決意を固めている。ともに頑張ろう」と訴えました。社民党の吉田忠智党首、民主党の国会議員があいさつしました。総がかり実行委員会の行動の後、SEALDsが「安倍晋三から未来をまもれ」などとコールを続けました。兵庫県西宮市の金井洋子さん（69）は「国民あつての国だということを、安倍首相はわかっている。強行採決は絶対にさせない」と話しました。

あいつ。憲法共同センターの小田川義和さんは「廃案を求める声で国会を包囲し、さまざまな手段で与党を追い詰めていこう」と呼びかけました。

日本共産党の小池晃副委員長は「今こそ民衆の力を示す時。野党は一致結束し、廃案に追い込む決意を固めている。ともに頑張ろう」と訴えました。